

山口情報芸術センター [YCAM]

YCAM InterLab Camp vol.4

遠隔・身体・共創

2022年12月16日(金)～18日(日) [3日間通し]

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

## 遠隔時代の「身体的つながり」を探る —

## 第一線で活躍する技術者や研究者がYCAMに集結！

山口情報芸術センター [YCAM] では、第一線で活躍する研究者やアーティストを招き、今後の表現において重要になるであろうトピックやツールについて学ぶ集中ワークショップシリーズ「YCAM InterLab Camp (インターラボ・キャンプ)」の第4弾を、「遠隔・身体・共創」をテーマに開催します。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、人が集まることに制約が生まれ、社会的・経済的活動の一部がオンラインへと移行しました。コミュニケーションにおける身体のありようは変化し、利便性がもたらされた一方で、多くの課題が存在しています。

このイベントでは、変化する「身体的なつながり」をキーワードに、エンジニアリングや表現など様々な領域の専門家を招き、レクチャーやワークショップなどを開催。現在進行形の課題についての考えを深めるとともに、参加者を交えた新たなコミュニティを形成していきます。

遠隔通信技術をはじめとするメディア・テクノロジーと身体の今日的な関係性を探る本イベントは、テクノロジーの新しい応用可能性を描き出すでしょう。ぜひこの機会にご参加ください。



イベントのメインビジュアル  
(デザイン: セミトランスペアレント・デザイン)



「YCAM InterLab Camp vol.3 : パーソナル・バイオテクノロジー」の様子  
(2019年/撮影: 田邊アツシ)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

[お問い合わせ]

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課 広報担当

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: [press@ycam.jp](mailto:press@ycam.jp) ウェブサイト: [www.ycam.jp](http://www.ycam.jp)

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

## 遠隔通信技術によって変化する身体イメージ



第5回未来の山口の運動会  
(2020年／撮影：塩見浩介)

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により人と人との物理的な接触が制限されたことで、生活様式の根本的な転換を余儀なくされ、多くの社会的・経済的活動が、ウェブ会議やメタバースなどのデジタル空間へと移行しました。メディア・テクノロジーを用いた新しい表現の探求を展開してきたYCAMも例外ではなく、オンラインで参加が可能なスポーツイベントや仮想空間が舞台の演劇の開催、触覚を遠隔地に伝送できるビデオ通話システムなどの研究開発をおこなうなど、状況に応じた活動を展開してきました。

こうした長期間に渡る生活様式の転換は、私たちのコミュニケーションや自らの身体へのイメージなどにも少しずつ変化をもたらしていることがわかってきました。しかし、その変化の実態、例えば新しい遠隔通信技術によって「拡張された身体イメージ」と、私たちにあって切っては切り離せない「物理的な身体イメージ」の関係性などの研究は始まったばかりです。くわえて身体的接触の減少が起こす様々な社会摩擦も顕在化してきており、倫理的・法的・社会的課題(ELSI)についても慎重に議論していく必要が出てきています。

このワークショップでは、国内外で先進的な取り組みを行うゲストを講師に迎え、「遠隔・身体・共創」をテーマにレクチャーやワークショップを開催。遠隔通信技術がもたらす新しい身体イメージや、今日的な課題について、理解を深めるとともに、表現を軸とした応用可能性を模索していきます。

### ■ コロナ禍のオンラインでの取り組み

#### 第5回未来の山口の運動会(2020年)



撮影：谷康弘

さまざまなメディア・テクノロジーやアイデアが詰め込まれた運動会種目を実施するイベント。2020年は、コロナ禍によりスポーツイベントに大きな制約があったため、会場をオンラインへと移行。ビデオ会議システムや、オンラインホワイトボードツールなどを駆使して、参加者各自が自宅にいながらにして楽しめる運動会を実現した。

#### 篠田千明

#### 5×5×5 本足の椅子(2020年)



撮影：谷康弘

演劇作家・演出家の篠田千明による新作オンライン・パフォーマンス作品。

ポストモダンダンスの旗手として知られるダンサーのアンナ・ハルプリンのダンス作品『5本足の椅子』(1962年)を下敷きに、物理的空間に演者と観客が同時に集う劇場の体験を、改めて捉えなおすことで、実空間とオンラインの空間が交錯する多面的な空間へと作品を拡張している。

## 身体とメディアテクノロジーの今日的な関係性を紐解く



「YCAM InterLab Camp vol.3：パーソナル・バイオテクノロジー」の様子  
(2019年／撮影：田邊アツシ)

今回開催する「YCAM InterLab Camp vol.4：遠隔・身体・共創」では、近年、発展が著しいVR、ロボット工学、認知科学、触覚伝送技術、モーションセンシング技術といった、私たちの「身体」や「コミュニケーション」にまつわる様々な技術によって生まれる新たな領域に関するレクチャーやワークショップなどを多数開催。理解を深め、今後の応用可能性を探るとともに、関心のある人々によるコミュニティの形成を図ります。

### 1日目（12月16日）：イントロダクション

研究者の南澤孝太や渡邊淳司をモデレーターに迎え、「身体」と「遠隔」といったキーワードについてのパネルセッションを開催。先行事例や技術動向、課題について理解を深めます。

### 2日目（12月17日）：ハッカソン

YCAMで様々な身体表現の制作に携わってきた大脇理智をモデレーターに、「共創」についてのパネルセッションを開催。その後は、参加者がグループにわかれ、「未来の身体のシナリオ制作」のアイデアを探索します。

### 3日目（12月18日）：応用可能性の検討

参加者によるショートプレゼンテーションと講師陣によるフィードバックを通じて、今後、変化する身体性を土台としたコミュニケーションや社会のかたちを議論・検討していきます。

#### ■ 南澤孝太（みなみざわ・こうた）

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科（KMD）教授。科学技術振興機構ムーンショット型研究開発事業 Cybernetic being Project プロジェクトマネージャー。

2005年 東京大学工学部計数工学科卒業、2010年 同大学院情報理工学系研究科博士課程修了、博士（情報理工学）。KMD Embodied Media Project を主宰し、身体的経験を伝送・拡張・創造する身体性メディアの研究開発と社会実装、TECHTILE（YCAM InterLab Camp vol.2）や Haptic Design Project を通じた触覚デザインの普及展開、新たなスポーツを創り出す超人スポーツやスポーツ共創の活動を推進。

#### ■ 渡邊淳司（わたなべ・じゅんじ）

NTT コミュニケーション科学基礎研究所上席特別研究員。人間の触覚のメカニズム、コミュニケーション、情報伝送に関する研究を人間情報科学の視点から行う。

触覚や身体感覚を通じて、自身の在り方を実感し、人と人との共感や信頼を醸成することで、様々な人のウェルビーイングが実現される方法論について探究している。

また、Ars Electronica Prix 審査員、文化庁メディア芸術祭（アート部門優秀賞受賞）、日本基礎心理学会「心の実験パッケージ」開発研究委員会委員長等、美術館や科学館での表現・体験領域の設計にも関わる。

#### ■ 大脇理智（おおわき・りち）

YCAMインターラボの映像エンジニア。メディア・テクノロジーと身体表現という二つの領域に対する専門性を活かし、制作現場におけるアイデアの深化や実現方法を提案する「メディアツールグ」として活躍。大学在学中からアーティスト・グループ「ダムタイプ」のメンバーとして、「memorandum」などのワールドツアーに参加。個人としてインスタレーションやパフォーマンス作品を多数発表。

## 開催概要

## YCAM InterLab Camp vol.4

## 遠隔・身体・共創

2022年12月16日(金)～18日(日) [3日間通し]

16日 10:00～20:00 / 17日 10:00～20:00 / 18日 10:00～17:00

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

定員：30人(先着順) 参加無料(要申込)

対象：当該テーマに興味を持つ高校生以上の方(未成年者は保護者の許可が必要です)

持ち物：ラップトップPC

## タイムテーブル

## 1日目(12月16日)

10:00～12:00 **オリエンテーション**

13:00～13:30 **パネルセッション#0：イントロダクション**

登壇者：南澤孝太、渡邊淳司、大脇理智

13:30～14:45 **パネルセッション#1：身体**

登壇者：南澤孝太、笠原俊一、脇坂崇平、小鷹研理

※科学技術振興機構ムーンショット型研究開発事業「Project Cybernetic being」との共催企画となります

15:00～16:15 **パネルセッション#2：遠隔**

登壇者：渡邊淳司、田中由浩、村田藍子、杉浦崇仁

※学術変革領域研究「デジタル身体性経済学の創成」との共催企画となります

16:15～18:30 **デモ体験**

## 2日目(12月17日)

10:00～12:00 **パネルセッション#3：共創**

登壇者：大脇理智、God Scorpion、齋藤達也、カイ・クンツェ

13:00～20:00 **ハッカソン**

## 3日目(12月18日)

10:00～15:00 **ハッカソン** (途中休憩あり)

15:00～16:50 **プレゼンテーション+講評会**

※タイムテーブルやプログラムは変更の可能性があります。

※各プログラムの詳細はYCAMのウェブサイトをご確認ください。

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会

共催：科学技術振興機構 ムーンショット型研究開発事業「身体的共創を生み出すサイバネティック・アバター技術と社会基盤の開発」、科学研究費助成事業 学術変革領域研究(B) 2021「デジタル身体性経済学の創成」

助成：令和4年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

## ■ 申込方法

ウェブサイトからお申し込みください。

ウェブサイト：

[www.ycam.jp](http://www.ycam.jp)